

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月30日

上場会社名 株式会社 トリドール
 コード番号 3397 URL <http://www.toridoll.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

(氏名) 栗田 貴也
 (氏名) 若山 義晃
 配当支払開始予定日 未定

TEL 078-200-3430

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	17,440	—	1,986	—	1,922	—	924	—
20年3月期第3四半期	11,932	52.0	968	32.6	921	26.0	383	△5.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	14,973.41	—
20年3月期第3四半期	6,366.24	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	14,087	—	5,334	—	37.9	—	81,579.43	—
20年3月期	8,424	—	3,544	—	42.1	—	57,738.10	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 5,334百万円 20年3月期 3,544百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	1,900.00	1,900.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2,400.00	2,400.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,400	42.2	2,250	55.3	2,200	58.7	900	52.4	14,660.36

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】5. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】5. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 65,390株 20年3月期 61,390株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1株 20年3月期 1株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 61,725株 20年3月期第3四半期 60,299株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

※ 前年同期増減率につきましては、参考として記載しております。

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、世界的な金融危機の拡大に伴う景気の一層の下振れ懸念により、雇用情勢は急速に悪化しつつあります。

当業界におきましても、個人消費の低下に伴い、外食機会が減少する中、業界内での競争は増々激しさを増しております。また、食品偽装問題や食品への薬物混入問題等に対する食の安全に対する消費者の防衛意識の高まりを受け、経営環境は一段と厳しい状況となっております。

このような状況の下、当社は第2四半期に引続き、より収益性の高い「丸亀製麺」部門へ経営資源を集中させ、更なる業容の拡大を図ると共に、一層の経営効率の向上に努めてまいりました。

部門別の出店状況といたしましては、当第3四半期累計期間において主力のセルフうどん業態である「丸亀製麺」部門で73店舗（ロードサイド59店舗、ショッピングセンター内14店舗）、他の業態ではラーメン業態である「丸醬屋」部門で1店舗（ショッピングセンター内1店舗）を出店する一方、「とりどーる」部門では1店舗を閉店し、当第3四半期会計期間末の営業店舗数は全部門の合計で263店舗となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高17,440百万円、営業利益1,986百万円、経常利益1,922百万円、四半期純利益924百万円となりました。

第3四半期累計期間における部門別業績は、次のとおりであります。

部門	店舗数(店)	売上高(百万円)	前年同期増減率(%)
丸亀製麺	181	12,192	95.5
とりどーる	26	2,475	△ 5.4
丸醬屋	24	1,248	△ 2.7
長田本庄軒	14	584	△ 12.4
その他	18	939	△ 16.6
合計	263	17,440	46.2

2. 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ、5,662百万円増加し、14,087百万円(前期比67.2%増)となりました。

資産の主な増加要因は、店舗数の増加と好調な売上げを反映して現金及び預金が前事業年度末に比べ1,239百万円増加したこと、平成20年12月9日を払込期日とした時価発行公募増資で得た資金に余剰資金の一部を加えた12億円を短期的に有価証券(MMF)にて運用した結果、流動資産が4,666百万円(前期比127.1%増)となりました。

固定資産につきましては、引き続き積極的な新規出店を行ったことにより、有形・無形固定資産は前事業年度末に比べ1,827百万円増加し、投資その他の資産は前事業年度末に比べ1,223百万円増加した結果、9,420百万円(前期比47.9%増)となりました。

(負債・純資産)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ3,872百万円増加し、8,752百万円(前期比79.4%増)となりました。

負債の主な増加要因は、1年以内返済予定を含む長期借入金の合計額が前事業年度末に比べ2,728百万円増加したことによりますが、これらは主に新規出店の投資資金として借り入れたものであります。

また、純資産は、好調な業容を反映した純利益に加え、平成20年12月9日を払込期日とした時価発行公募増資により前事業年度末に比べ1,789百万円増加し、5,334百万円(前期比50.5%増)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、結果として、前年同四半期末より2,121百万円増加し、3,586百万円(前年同期比144.9%増)となりました。

第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、2,177百万円(前年同期比111.0%増)となりました。

主な増減要因は、税引前四半期純利益を1,826百万円、減価償却費を719百万円計上した一方で、法人税等の支払いによる支出が755百万円あったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、3,422百万円(前年同期比57.9%増)となりました。

主な増減要因は、新規出店の増加に伴い、有形固定資産の取得による支出が2,252百万円、敷金及び保証金の支払いによる支出が459百万円並びに建設協力金の支払による支出が818百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動より得られた資金は、3,730百万円(前年同期比156.1%増)となりました。

主な増減要因は、株式発行による収入968百万円に加え、短期借入金及び長期借入金による収入が4,300百万円あった一方で、借入金の返済と社債の償還による支出が1,421百万円、配当の支払額が116百万円あったことによるものです。

3. 時価発行公募増資等に係る資金使途計画及び資金充当実績

平成20年12月9日を払込期日として実施した時価発行公募増資（調達金額982百万円）の資金使途計画及び資金充当実績は、概略以下のとおりであります。

① 資金使途計画

平成20年12月9日を払込期日として実施した時価発行公募増資の手取調達資金972百万円は、平成21年3月期の設備投資に全額充当する予定であります。

② 資金充当実績

平成20年12月9日を払込期日として実施した時価発行公募増資の手取調達資金は概ね予定どおり進行中であります。

4. 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、事業領域の選択と集中を行い、投資資金をより収益性の高い業態である「丸亀製麺」部門を中心に展開する予定としており、当事業年度の新規出店数は、当初計画した80店舗に対し90店舗を上回る見込みとなっております。

また、出店形態につきましては、都市計画法の改正に伴いショッピングセンターの出店が鈍化することが予想されることから、ロードサイド店舗への出店を積極的に展開しております。

また、営業年数を経た店舗においては、店舗設備のリニューアルも計画しており、販売費及び一般管理費の増加を見込んでおります。

以上の状況から、通期の業績見通しにつきましては、売上高23,400百万円、営業利益2,250百万円、経常利益2,200百万円、当期純利益900百万円を見込んでおります。

当社は、出店に際し、店舗の採算性を重視しておりますので、計画した店舗数に見合った出店立地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全性の問題等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

5. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,386,090	1,146,178
営業未収入金	727,908	613,363
有価証券	1,200,205	10,116
原材料	39,773	29,732
繰延税金資産	84,058	90,128
その他	228,491	165,465
流動資産合計	4,666,527	2,054,986
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,245,389	2,730,045
工具、器具及び備品	925,667	687,338
その他	558,306	491,650
有形固定資産合計	5,729,364	3,909,034
無形固定資産	43,770	36,544
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,765,675	1,327,788
繰延税金資産	149,453	102,277
その他	1,772,454	1,022,903
貸倒引当金	△40,057	△29,000
投資その他の資産合計	3,647,525	2,423,969
固定資産合計	9,420,660	6,369,547
資産合計	14,087,187	8,424,533
負債の部		
流動負債		
買掛金	646,189	484,868
短期借入金	300,000	0
1年内返済予定の長期借入金	1,419,846	615,456
1年内償還予定の社債	50,000	160,000
未払法人税等	630,725	445,742
引当金	78,835	118,207
その他	1,792,887	1,105,697
流動負債合計	4,918,483	2,929,972
固定負債		
社債	240,000	280,000
長期借入金	3,586,527	1,662,321
その他	7,698	7,698
固定負債合計	3,834,225	1,950,019
負債合計	8,752,708	4,879,991

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,318,296	826,940
資本剰余金	1,375,944	884,588
利益剰余金	2,640,001	1,832,415
株主資本合計	5,334,241	3,543,943
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	237	598
評価・換算差額等合計	237	598
純資産合計	5,334,479	3,544,542
負債純資産合計	14,087,187	8,424,533

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	17,440,284
売上原価	4,483,760
売上総利益	12,956,524
販売費及び一般管理費	
販売費及び一般管理費合計	10,969,664
営業利益	1,986,859
営業外収益	
受取利息	14,621
受取配当金	29
受取地代家賃	8,313
ポイント引当金戻入額	13,418
その他	14,436
営業外収益合計	50,818
営業外費用	
支払利息	46,748
貸倒引当金繰入額	11,057
上場関連費用	25,093
その他	32,659
営業外費用合計	115,557
経常利益	1,922,120
特別利益	
固定資産受贈益	4,200
特別利益合計	4,200
特別損失	
減損損失	93,843
附帯税納付額	5,178
その他	465
特別損失合計	99,487
税引前四半期純利益	1,826,832
法人税、住民税及び事業税	943,465
法人税等調整額	△40,859
法人税等合計	902,605
四半期純利益	924,227

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,826,832
減価償却費	719,046
減損損失	93,843
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,057
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△13,418
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22,203
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,750
受取利息及び受取配当金	△14,651
支払利息及び社債利息	46,748
固定資産除却損	8,613
固定資産受贈益	△4,200
店舗閉鎖損失	465
売上債権の増減額 (△は増加)	△114,544
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,808
仕入債務の増減額 (△は減少)	161,320
その他	289,437
小計	2,976,788
利息及び配当金の受取額	1,023
利息の支払額	△45,232
法人税等の支払額	△755,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,177,542
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	55,729
有形固定資産の取得による支出	△2,252,251
無形固定資産の取得による支出	△14,717
敷金及び保証金の差入による支出	△459,962
敷金及び保証金の回収による収入	23,355
建設協力金の支払による支出	△818,500
建設協力金の回収による収入	52,467
その他	△8,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,422,550
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	800,000
短期借入金の返済による支出	△500,000
長期借入れによる収入	3,500,000
長期借入金の返済による支出	△771,404
社債の償還による支出	△150,000
株式の発行による収入	968,782
配当金の支払額	△116,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,730,737
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,485,729
現金及び現金同等物の期首残高	1,100,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,586,295

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年12月9日を払込期日とした時価発行公募増資による払込みを受けました。

この結果、当第3四半期会計期間において資本金が491,356千円、資本準備金が491,356千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が1,318,296千円、資本準備金が1,375,944千円となっております。

「参考」

1. 前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 前第3四半期損益計算書

区分	前第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	11,932,205	100.0
II 売上原価	3,258,689	27.3
売上総利益	8,673,516	72.7
III 販売費及び一般管理費	7,704,518	64.6
営業利益	968,998	8.1
IV 営業外収益	42,171	0.4
V 営業外費用	89,988	0.8
経常利益	921,181	7.7
VI 特別損失	164,678	1.4
税引前第3四半期当期純利益	756,502	6.3
法人税、住民税及び事業税	401,484	
法人税等調整額	△28,859	3.1
第3四半期当期純利益	383,878	3.2

(2) 前第3四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前第3四半期当期純利益	756,502
減価償却費	492,773
減損損失	55,085
出店協賛金受入益	△ 12,625
投資有価証券評価損	19
貸倒引当金の増減額	15,453
ポイントカード引当金の増減額	54,908
賞与引当金の増減額	△ 11,493
店舗閉鎖損失引当金の増減額	9,699
受取利息及び受取配当金	△ 5,304
支払利息及び社債利息	32,164
固定資産除却損	5,767
店舗閉鎖損失	38,657
売上債権の増減額	△ 117,607
たな卸資産の増減額	△ 2,800
仕入債務の増減額	78,451
その他	203,487
小計	1,593,141
利息及び配当金の受取額	373
利息の支払額	△ 28,473
法人税等の支払額	△ 533,051
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,031,990
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純増減額	△ 12,717
有形固定資産の取得による支出	△ 1,444,398
無形固定資産の取得による支出	△ 4,185
敷金・保証金の支払による支出	△ 315,843
敷金・保証金の返還による収入	22,911
建設協力金の支払による支出	△ 415,000
建設協力金の返還による収入	22,540
出店協賛金受入による収入	420
その他	△ 21,724
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,167,998

	前第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	787,000
長期借入金の返済による支出	△ 255,342
社債償還による支出	△ 55,000
株式発行による収入	1,077,660
配当金の支払額	△ 97,563
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,456,755
Ⅳ 現金及び現金同等物の増減額	320,746
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	1,143,723
Ⅵ 現金及び現金同等物の第3四半期期末残高	1,464,469

2. 生産、受注及び販売の状況

(1) 仕入実績

当事業年度における仕入実績を部門別に示すと次のとおりであります。

部門	第18期 第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		第19期 第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
丸亀製麺	1,572,481	47.7	2,983,163	65.5
とりどーる	828,121	25.1	796,007	17.5
丸醬屋	392,975	11.9	352,293	7.7
長田本庄軒	174,394	5.3	148,706	3.3
その他	328,947	10.0	270,916	6.0
合計	3,296,920	100.0	4,551,087	100.0

(注) 上記金額には消費税は含まれておりません。

(2) 販売実績

当事業年度における販売実績を部門別に示すと次のとおりであります。

部門	第18期 第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		第19期 第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
丸亀製麺	6,238,309	52.3	12,192,976	69.9
とりどーる	2,616,214	21.9	2,475,254	14.2
丸醬屋	1,283,250	10.8	1,248,030	7.2
長田本庄軒	666,975	5.6	584,252	3.4
その他	1,127,455	9.4	939,769	5.4
合計	11,932,205	100.0	17,440,284	100.0

(注) 上記金額には消費税は含まれておりません。